

豪族・阿蘇氏の歴史と人々の生活

プログラムのポイント

①プログラムの狙い

古代より肥後国一の宮阿蘇神社の大宮司職をつとめた阿蘇氏。系譜の明らかな旧家として知られ、現在の当主は92代を数えます。大和朝廷の支配下では国造（くにみやつこ）、また律令制時代には郡司の伝統を持ち、中世に武家化しましたが、江戸時代以降は神主家として今に至っています。阿蘇神社を訪れ、豪族阿蘇氏の歴史に触れ、地方豪族と阿蘇に住む人々の文化を学びます。

②学習内容

紀元前に創建されたと伝わる阿蘇神社を訪ねて、阿蘇氏と阿蘇神社の関わりと、豪族阿蘇氏の没落と再起の波乱の歴史を学びます。



プログラムの流れ

①テーマの設定

阿蘇氏と阿蘇神社を学習する。
肥後豪族の隆盛を学習する。



②事前学習

ホームページや資料集などで阿蘇氏と阿蘇神社を調べる。

③事後学習

住んでいる地域にいた豪族を調べる。

④参考資料

阿蘇市観光協会ホームページ

トピックス TOPICS

■阿蘇神社

古より肥後一の宮と称されてきた由緒ある古社で、阿蘇開拓の祖神健甕龍命（たけいわたつのみこと）をはじめ12神を祀っています。また県内外に500社もの分社があり、農耕神として信仰の厚さをうかがわれます。現在の社殿は天保6年（1835年）より16年かけて熊本藩によって再建されたものですが、とくに二層屋根で見事な彫刻を施された楼門は（日本三大楼門）有名で、他の社殿とともに平成19年に国の重要文化財に指定されています。

■国造神社（こくそうじんじや）

本宮の阿蘇神社より5キロメートル北にあるため「北宮」とも呼ばれ、阿蘇神社の主祭神健甕龍命（たけいわたつのみこと）の御子神である速瓶王命（はやみかたまのみこと）をはじめ4神を祀っています。社殿は寛文12年（1672年）、熊本藩主細川綱利によって造営されたと伝えられ、精巧な彫刻が施されています。また、境内には祭神のお手植えと伝えられ、平成3年の台風で倒れた樹齢2000年といわれる「手野スギ」が保存されています。

モデル
コース

阿蘇神社⇒門前町水墓巡り⇒国造神社

実施概要

- 受入期間／通年
- 受入人数／全クラス可能
- 受入時間／制限なし（入園時間）
- 実施場所／阿蘇神社
- 講師の派遣／ガイド要請可 or ガイド対応可



【問い合わせ先】

一の宮インフォメーションセンター

TEL 0967-22-8181 / FAX 0967-22-8182 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地1934-1